

会議の概要

学校長	<p>1 開 会 傍聴者の確認、交代委員の紹介（1名）、欠席委員の紹介 —鹿嶽教育長 挨拶—</p> <p>2 第2回部会グループ協議の概要・資料1 —事務局より【資料1】に基づき説明—</p> <p>○ 学校長より（上野台中の子どもたちの最近の状況について） 今までのみなさんの熱心な議論に、私も胸が熱くなる思いで聞かせてもらった。せっかくの機会なので、最近の上野台中の子どもたちの様子について話をしたい。本校では合同部活動により、女子バレーと女子バスケットが八景中と合同チームを組んでいる。先日の三田市新人大会で両チームともに優勝し、女子バスケット部については丹有大会も優勝し、12月の県大会に進むことになった。</p> <p>その試合に上野台の子は全員八景のユニフォームを着て参加したのだが、ユニフォームが揃っていないために、八景の子どもの発案で先輩からユニフォームを借り、それを上野台の子が着て試合に参加するということがあった。</p> <p>女子バレーでは、1回戦は八景のユニフォームで、2回戦は上野台のユニフォームで出場した。子どもたちは今の状況の中でも精一杯できることをやってくれている。八景中の校長や顧問からは、「上野台の子がいてくれたから優勝できた」という大変うれしい言葉をもらっている。</p> <p>行事についても一生懸命取り組んでくれている。修学旅行での3年生の姿をぜひ見習ってほしいということ、下級生に伝えることがあった。1つ目は、「聞く姿勢」。体や目を向けてうなずきながら、本当に真剣に聞いてくれる。2つ目は、どこに行っても「お礼を言ってくれる」ということ。郵便配達や荷物の配達の人にもお礼やあいさつをする姿に、それを見たホテルの方が「本当に感動しました」と言われていた。3つ目は、長崎の稲佐山に上った時、曇り空で夜景がよく見えなかったのだが、「僕たちには見えるよ」と言ってくれ、私たち教師も温かい気持ちになった。盛り上がる時には盛り上がり、真剣に取り組む時は真剣に取り組む、そのメリハリの効いた3年生の姿を見習おうと話をした。全ては幼稚園・保育園・小学校や家庭・地域の中で育った子どもたちの姿であると感じている。お礼を申し上げたい。</p> <p>先日、学校の教職員に「上野台中の子どもたちのがんばっていると思うところ」を挙げてもらった。たくさん出てきた中で、「虹プロジェクト」という伝統を引き継いでやっている。小さな命を慈しむようなやさしきで子どもたちが見つめてくれている。今年は、アサギマダラを見つけて子どもたちは大騒ぎだった。その様子を見て「自然豊かな校区で生まれ育ったことで培われた財産といえるような心と行動だった」という教師の言葉があった。また、今年初めてにおい袋の製作を行った。志手原の地域担当にも協力していただき、生徒会の子の顔写真を入れることにした。この会場（有馬富士共生センター）にも展示してあるので、ぜひご覧いただき</p>
-----	--

たい。どこに送ろうかを現在検討中である。今の状況の中で一生懸命取り組んでいる上野台の子どもの様子を紹介させていただいた。

3 上野台中学校区部会としての現時点でのまとめについて・資料2

—志手原小保護者委員から提出のあった資料（別紙資料）を「4 全体協議」の中で取り扱うことについて各委員の了承を得る—

—事務局より【資料2】に基づき説明—

4 全体協議（地域・保護者合同で）

—全体協議の進め方について事務局より説明—

○ 志手原小保護者委員より提出資料について説明・別紙資料

貴重な時間をいただきありがとうございます。なるべく早く説明させていただく。前回の八景地区の協議会で、八景の保護者から「上野台地区はこの再編に前向きなのか」という質問があり、それに対して事務局から「概ね賛成いただいている」という発言があった。志手原からは「少人数学級導入時の懸念」高平からは「他案の評価を示してほしい」という発言がある中で「概ね賛成」という状況ではないと感じている。志手原小代表のスタンスとして、資料には「再編する必要はあるが、八景との統合には疑問が残る」と書いてあるが、一昨日八景地区の協議会において学校長から「今もいじめがある」「いじめに対して対策を取っていかねばならない」という発言があった。八景中の中の小規模小学校である松が丘小の保護者と話し合いをさせてもらった時に、保護者からは「もまれてる」という表現だったが、その内容を聞いてみると「入学式から帰ってきたら背中に足跡がついていたことがある」という話だった。松が丘小では6年生になると先生から「そういうことがあるので、あなたたちが強くなりなさい」という指導を受けると聞いたので、「いじめがある以上は、行政案には賛成できない」に変更させてもらいたい。

「志手原小保護者が抱えている疑問」としては、1つ目「再編案5案についての評価に曖昧な点が多いので同じような基準で示してほしい」ということ。2つ目「八景・上野台を統合すれば生徒数の割合が9：1となることに不安を感じている保護者が非常に多い」ということ。3つ目「藍・長坂を統合しても適正規模に満たない。三田市全体の教育環境を平等にするという主旨からずれていないか」ということ。4つ目「国で進めている少人数学級への対応」ということ。上野台と八景の統合では適正規模マックスだが、それが得策かということで、今回3つの提案をさせていただく。

これまでに他の再編案についての評価を示してもらい、なぜ上野台・八景の統合が一番いいとなったのか、その経緯を示してほしいと言ってきたが、満足のいく回答が得られていないので、○×△や優良可などで評価してほしい。評価の観点として資料には4観点を示しているが、この内容については協議会のみなさんで決めてほしい。

委員

2つ目の提案は、藍・長坂・上野台に松が丘を含めた統合をすればどうかということ。適正規模に満たなければ満足な教育は受けられないということであるならば、藍・長坂の統合では適正規模に満たないので、この案を提案する。少人数学級については、文部科学大臣が「できるところからやっていくべき」と会見で発言している。今回の統合については「できるところから」に当てはまるのではないかと思う。八景の統合案で30人学級が実現した場合、適正規模を上回る可能性があることから、この案を提案する。

次のページに、一番生徒数が多くなる令和9年度と一番少なくなる令和24年度の生徒数と学級数を示している。一番多い令和9年度を見ると30人学級になると23学級、一番少ない令和24年度でも21学級となる。もう少し余裕を持った学級編成が可能な規模で再編する必要があるのではないかと思う。

藍・長坂・上野台を統合しても令和14年度に適正規模を下回るということなので、松が丘を入れることで40人学級でも30人学級でも適正規模は確保でき、今後の学級編成の見直しにおいても弾力的に対応は可能であるといえる。

まとめとして、八景・上野台の統合では、生徒数の割合が9：1の関係性で不安に思っている保護者が非常に多いということ、藍・長坂の再編は、両校を統合しても適正規模に満たないこと、少人数学級実現時の対応、以上の観点からこの案を提案した。この案のメリットは、三田市の中で適正規模に満たない中学校がなくなる、同規模の小規模校が集まることでスムーズに学校生活に移行できる、これから進むであろう少人数学級への対応について比較的余裕を持って弾力的に対応できるということがあげられる。デメリットとしては、八景の立地問題は解決しないということがあるが、今回の再編は、あくまでも生徒数の減少に伴う地域による教育格差の是正がメインテーマであると考えられる。校区が広がって通学におけるコストなどの問題があるとのことだが、市の方で進めている三田市都市交通網形成計画と合わせて、通学しやすい交通網の形成に取り組んでほしい。

もう1つは、上野台を八景の分校とする案である。上野台のいいところとして、生徒会活動が盛んで、生徒会を中心にいろいろなことに取り組んでいるという話があったが、それは現行の上野台だからできることではないか。上野台中を今のまま残す方法はないかということである。現状の問題として、教職員数の割り当てが少ない、部活動の選択肢がないということで、八景中と協力体制を取りながら上野台中を存続させられないかということで、上野台中を八景中の分校にする案を提案する。その際、上野台の校舎には、上野台の生徒に松が丘の生徒を加えて40人程度のクラスを確保し、現八景中は移転を行う。新設校を建てないので、その費用を充てることができる。この案のメリットは、八景中と教職員をシェアして教科担任制が継続できる、部活動も2校が一緒にやることで上野台中の生徒の選択肢が広がる、新設校を建てない代わりに八景中の移転費用が捻出できる、2校の生徒の通学不安が解消される、同じ中学校にすることで交流の機会が取りやすく、多様な価値観に触れる機会が現状より増加することである。デメリットとして、学校行事の運営がどうなのか、教職員が八景と上野台を行き来することが多く発生する、部活動の移動に費用がかかるということ、子どものデメリットというよりも親や行政の

デメリットが多いように感じる。

最終的なまとめとして、行政案以外が取り下げられた理由やなぜ行政案なのかという疑問が解消されないまま進んでいる現状から、再編案の評価と合わせて、藍・長坂・上野台+松が丘の統合案、上野台を八景の分校とする案を提案する。行政案に反対したいということではなく、どの案についても、子どものことを中心に据えた提案だと考えている。行政案ありきではなく、子どものことを一番に考えて、真摯に進めることを切に願う。

説明は以上である。

－別紙資料において提示された志手原小保護者委員からの質問に対する事務局回答－

事務局

行政案、過去に検討した4案および委員ご提案の案についての評価について口頭でお答えする。

まず、行政案について、経費は新設校の建設・バスの経費などから大きな経費がかかる。利便性は、八景は良いが上野台はバス通学の時間が延びる。八景中の課題解消になり、適正規模の確保もできることから、2校を統合することを行政案としている。「松が丘を上野台校区に」という案については、八景中の課題解消にならない、適正規模の確保が出来ないという課題があり、新設校の場所にもよるが、利便性では友が丘は近くなるかもしれないが、それ以外の地域は逆に遠くなる。「松が丘・三輪を上野台中に」という案は、距離的にバス通学の補助の対象外になるため、多くの生徒が自転車で三輪・松が丘から登校する際の安全の確保が課題、三輪・松が丘地域の方の意向確認が必要であることなどから難しい。「上野台をけやき台中に統合」という案は、適正規模は確保できるが、利便性で今の学校より遠くなる、バスの経費が余計にかかる、八景の課題解消にならないという課題がある。「上野台・藍・長坂を統合し、新三田付近に新設」という案は、新設校の建設およびバスの大きな経費がかかる、利便性で今よりも遠くなる、八景中の課題解消にならない、適正規模にならない、校区が非常に広大になるなどの課題がある。「上野台・藍・長坂に加えて松が丘小校区を統合」という案については、令和14年までは適正規模を確保できる見込みだが、それ以降は生徒数の減少により適正規模を下回る可能性が高い。そのような状況で、新設校を作ることは難しい。最後に「上野台を八景の分校に」という案については、学校教育法施行規則で決められた設置基準によると、中学校では2学級以下でないと分校にならないことから、上野台中を分校にすることは制度的にできない。回答は以上である。

【課題2 行政案およびその他の方策について】

委員

委員提出の資料について、多岐に渡って検討されていることに敬意を表した上で、質問をしたい。この資料の表紙に「志手原小中学校再編検討委員会」とあるが、この内容は検討委員会メンバーだけで確認されたものなのか、志手原小保護者全体で確認されたものなのかが1点目、その検討委員会に地域の人は入っているのかが2点目、以上2点の質問をしたい。

委員	志手原小の PTA を通して合意を得ている。地域の方は入っていない。
委員	高平地域では「三輪・松が丘が上野台中校区に」という案がよいのでは、という意見が出ていた。その案がダメな理由は先ほど事務局から説明があったが、その中で、交通に関して補助基準が 4 km ということであった。第 3 回八景中部会の協議概要の中にも「現在の道路状況では自転車通学に危険がある」という意見があったということだが、この 4 km という基準は、市が決めたものなのか国のルールなのか、この基準は変えることができないのか、以上 2 点について教えてほしい。可能なら通学路の危険性も考慮して、この基準を変えることを考えてもよいのではないか。
事務局	1 つ目の遠距離通学の補助について、国の基準では中学校は 6 km となっているが、三田市ではそれを 4 km としており、市の規則で決めているので変更できないわけではない。八景中部会で出た通学路の危険性については、中央病院から先の歩道が狭くなること、三輪明神窯の裏側を通ることの不確実さなどの意見が出ていた。仮に三輪・松が丘の 3 学年の生徒が自転車で上野台中まで通学すると、同時間帯に多数の自転車が走ることで、坂の傾斜が大変きつく子どもの負担になるのではないかと心配がある。遠距離通学基準の規則の変更については、距離を変更すれば全学的なこととなるため、多大な費用がかかってくることを考えられ、最終的には議会で予算が通るかどうかが、市としてそれが維持できるのかという課題がある。
委員	確認だが、議会が通れば規則は変えられるが、予算などの関係で議会が通るかどうかがわからないということか。
事務局	規則の変更については、教育委員会にかけて承認される必要がある。予算については、まず行政で判断し、そのあと議会にかける必要がある。
委員	規則の変更の可能性はゼロではないが、いろいろな要件を満たしていかないといいけないということではないか。
事務局	その通りである。
委員	自分は第 3 回八景中部会を傍聴していたが、三輪・松が丘の保護者委員からは、上野台中まで通うこと、坂を上ることに問題はない、ただ歩道がないことだけが危険かなという意見が出ていたが、当日配布資料（八景中部会の協議概要）に書かれていないのはどういうことなのか。
事務局	自転車で通学するということでの共通認識があったのか、その場での発言だけではこの資料に記述するだけの確証がなかったのではないか。ただ、委員が言われたような発言があったことは事実であり、それは補足させていただく。

委員	<p>発言内容については、しっかり記載してほしい。</p>
委員	<p>少し本筋からはずれるかもしれないが、先日神姫バスの中間決算報告があり、26億円の赤字が出ている。前年同期では4億円の黒字だった。コロナの影響もあるが大きな赤字となっている。神姫バスの資本金は31億円、総資産が570億円となっており、1年間で50億円の赤字となると、10年間で総資産が消えてしまうことになる。上野台中については、以前からバスのダイヤによって生徒の学校生活が左右されている状況がある。自分は、学校の再編は検討すべきと思うが、最終的にこの協議会の結論が出ても、実際に再編されるのはもっと先の話になる。上野台中の生徒が今でも困っている状況があるのに、神姫バスの経営状況で、高平・波豆川ラインのバス便がさらに減便になる可能性がある。以前から教育委員会には、部活動が満足にできるだけのダイヤの確保を要望していたが、未だに変わっていない状況で、先話をされても、直近に上野台中に入学する子どもがかわいそうである。先のこと重要だが、今の子どももしっかり考えてほしい。例えば、三輪の子が上野台中にあがるという暫定的な話も含めて検討していかないと、上野台中がますます困難な状況になるのではないかと。保護者・地域のみなさんと共にしっかり考えていきたい。</p> <p>また、へき地教育振興法に基づき、例えば松が丘の子を通学バスで上野台中に運ぶことができるのかどうかを調べておいてほしい。</p>
事務局	<p>バス通学の件については、高平小 PTA から要望を聞いている。まず現行のバス体系の中で何とかできないか考えているが、課題があることは認識している。委員の言われるように、先のことと今のことの両方を考えるということに全く異論はなく、今の交通体系の中で今後も努力させていただきたい。へき地については、市内では母子小が「準へき地」の指定を受けているが、上野台中はへき地指定の対象にはならないので、へき地教育振興法の適用は受けないことになる。</p>
委員	<p>志手原小委員からの質問について事務局から口頭での回答があったが、資料にも記載しているように、統一した評価指標に基づいて、丁寧に説明してもらわないと納得ができない。本当に子どもにとってどの案がいいのかを真剣に考えたいので、一定の評価指標「金額の適正度」「通学の快適度」「教育の充実度」「その他」について、どのように評価したのかを、ある程度規模感がわかるように説明してほしい。例えば、「バス通学の経費がかかります」と言われても、どれだけの経費がかかるのかがわからない。志手原も八景と同じように、子どもたちのためにスピード感を持って進めていきたいと思っており、決して行政案に反対したいという気持ちではない。子どものためにいろいろな案を検討し、納得した上で進めたいと考えている。先日の八景中部会において、八景中の校長先生から「今でもいじめが起きている」、松が丘の委員からは「小規模の松が丘から入学してくる子がいじめを受けており、対応しようとしているがいじめがなくなる」という話を聞いて、9：1という大きな生徒数の差がある学校同士を本当に統合する必要があるのかという不安の</p>

事務局	<p>声が、志手原の保護者の中には多くある。そこで、具体的な評価指標に基づき平等に評価してもらった上で、納得して判断したいという気持ちがあるので、今回資料を提出した。</p> <p>いじめは絶対許せないということは、教育委員会・学校ともに十分認識している。学校規模にかかわらず全ての学校・幼稚園からいじめをなくしていくように、各学校でも研修し、未然防止および早期対応に努めている。いじめを受けた子の心のケアを丁寧にしていかなければいけないと考えている。残念ながら、「いじめゼロ」とは言えないが、そのような情報があればすぐに対応するので知らせてほしい。全ての学校にいじめ対策チームを設置しており、いじめをなくすために全力を挙げていきたい。</p>
委員	<p>さきほど委員が言われているのは、「小規模校から大規模校に行く時に、子どもがいじめられているという話を聞いた」という問題提起であり、事務局の「いじめゼロにしたい」という説明とは合わないのではないかと。小規模校から大規模校に行くことの保護者の不安に対する回答を聞きたい。</p>
事務局	<p>小規模校から大規模校、小学校から中学校に共通するのは、入学前にどれだけお互いのことを理解し、関係性を築いているかが大事。そのために、統合前に子ども同士の交流を行い、お互いに知り合っている度合いを増やすことが必要である。そのような取組を行うことで、いじめの未然防止につながると考える。</p> <p>小規模校・大規模校、小学校・中学校にかかわらず、いじめの認知を幅広におこなっているため、学校の規模によるいじめ件数の偏りはないというデータが出ている。</p>
委員	<p>小規模校から大規模校に行くことの不安もあるが、実際に事前に交流をしないといけない、いじめ対策チームを立ち上げないといけない、スクールカウンセラーを置かないといけないなどの対策が必要となるような環境をあえて用意しなければならないということが不安に思うところである。今でも実際にそのようなことが起きているのに、他の案ではなくなぜこの行政案にしなければならないのかが疑問に思うところである。一定の指標に基づき評価する中で、本当にそれが最適なのかを三田市全体の子どもたちのことを考えて判断していきたい。今のようにたくさん不安がある環境に子どもを入れていくのが本当にベストなのかが疑問に思うところである。</p>
事務局	<p>小学校から中学校に進学する時のように、違う集団に入る時に子ども同士の人間関係の違和感が生じ、それを乗り越えて一つの集団ができるというのは、どこの学校にでもあり、誰でもが通る道だと思う。小規模校だからといって、それがいいということではなく、小規模は小規模なりに、大規模は大規模なりにある。よって、さまざまなケアはどこの学校でも必要なことであり、取り組んでいくべき課題であ</p>

	<p>る。保護者としての不安の気持ちはよくわかるが、どの集団においてもそのようなことは少なからずあり、それを乗り越えようとする子どもへの支援をし続けたい。</p>
委員	<p>新設校をつくるにあたって、その移行期間に、例えば「心のケア担当」のような教職員の配置をしてもらえればそのような不安は解消されるのではないか。</p>
事務局	<p>今提案していただいたことは、最大限努力していきたい。</p>
学校長	<p>先ほど自転車通学のことが出ていた。例えば、遠距離通学の基準を4 km から3 km にした場合、現在市内6中学校が自転車通学をしているが、全ての学校で短くなったその1 km の中に何人の生徒がいるかを算出しなければならず、かなりの事務的な負担になるとともに、よくわからないケースが出てくる可能性がある。学校ですら難しいその事務を教育委員会がするのは、大変難しいと考える。基準となる距離が縮まれば、ニュータウンの学校も含めて市内全学校が対象となるので、莫大な人数になることが考えられる。</p>
委員	<p>今校長先生が発言されたことでよくわかった。私たちにはよくわからないこともあるので、事務局からも質問に対してはできるだけ具体的に説明してもらえれば理解できるのではないかと思う。志手原の委員が言われている、各案に対して指標に基づき具体的に評価してほしいというのは、以前自分が発言した、行政案に決められたプロセスを明らかにしてもらわないと、なぜ八景と上野台の統合が一番良いのかが不明なままでは判断できないということと同じ思いなのではないか。</p>
事務局	<p>志手原の委員から要望があったような〇×での評価ができるかどうかはわからないが、先ほど説明したようなことを何らかの目に見える形で一覧表にして、次回お示ししたいと考えている。</p>
委員	<p>確認したいことが2点ある。生徒の通学路の距離基準の4 km というのは、直線距離なのか道なり距離なのかということ、もう1つは、通学路は学校や教育委員会で決めているのかどうか、その2点を聞きたい。</p>
事務局	<p>距離基準は、道なりの距離で計算している。また、通学路は、安全に登下校できることが大前提であり、それが最短距離であればなお良いが、仮に最短距離の道路に危険があるのであれば、中学校では保護者と生徒で安全な通学路の選定を行い、それを学校に届けて、承認するという形をとっている。</p>
委員	<p>仮に、三輪・松が丘から上野台中に通学することが確定したとして、上野台の坂は大変危険なので、例えば国道から有馬富士公園線を通ると、松が丘から5 km、三輪からは6 km となる。そのようなことを考えた再編はできないのか。</p>

事務局	<p>通学路の選定は安全面からある程度融通が利く部分はあるが、委員ご提案のルートとなると、かなり大回りになり、それが一般的に受け入れられるかどうか即答はできない。</p>
委員	<p>端的に言うと、そのルートなら基準である4kmを超えるということ。</p>
事務局	<p>実際に4kmを超えた場合、バス路線があればそのバスに乗ってもらうが、八景については直結するバス路線がないので、自転車補助を選択される人が多い。新しい路線を開拓するという事は非常に難しい。</p>
委員	<p>「三輪・松が丘を上野台中校区に」という話の中で、三輪・松が丘からの通学路に危険があり、バスも使えないということから、この案は否定された。しかし、今提案したようなルートを通学路に出来るのであれば、4kmを超えるので、バスを用意してもらうことになるのではないか。</p>
教育長	<p>現在の通学補助は、バス基準の4kmを超えた場合、バス路線がある場合はその費用を補助するという事である。例えば、長坂中の青野の子どもは距離が8kmあるが、バス路線がないため自転車通学(1万円の自転車補助はある)をしており、バス代の補助はしていない。仮に、バス路線を廃止して、有馬富士公園線を通るバス路線のみにする場合は、4kmを超えるのでバス代の補助は出来るが、今現実にバス路線がある以上、そのバス路線を利用することになるので、その場合4kmを超えていなければ、バス代の補助はできないことになる。</p>
委員	<p>保護者の心配は、中学校で友達になじんで充実して過ごせるかどうかということだと思う。私には3人の子どもがいるが、幼稚園・小学校・中学校と上に上がる時は心配だった。ずっとある学校に通うから安心ということではなく、やはり環境が変わることに心配があった。今回新しくできる学校に通うとなると、その心配はさらに大きくなると思う。今までなら先輩などから話を聞いて何となく様子のわかっている学校だったが、今回は新しい学校ということで、環境変化への心配はわかるが、実際に学校に行って、どのような環境なのかがわかって徐々に不安や心配が解消されていき、安心して送り出せることになるのではないか。今の学校でもスクールカウンセラーがいて、子どもの不安解消へのケアをしている。新しい学校では、より心配があるだろうから、それ以上にサポートしていこうということだと思う。何か問題が起こっているからという前提ではなく、みなさんが持っている不安を解消するために分厚く支援していこうと思うので、わざわざ問題のある学校、リスクのある学校に送り出すということではなく、今は八景と上野台が統合するという話なので、少しでも気が楽になればと思う。うちの子は、上野台中で元気に過ごさせてもらっているが、それでも毎日心配しながらも子どもの「今日も楽しかった」という言葉を聞いてほっとするという日々を送っている。</p>

委員	<p>八景中でいじめがある現状や松が丘で6年生が卒業する時に「大きい中学校に行って、たくましく」という話を聞いて、高平でのアンケートでも、大規模校に行くことによる親の不安や飲み込まれることの不安を訴える声があった。自分たちは保護者代表として出席しており、聞いた以上自分は知らなかったとは言えない。いじめが何らかの方法で解決されるのであれば保護者の合意は得れるかもしれないが、今はそのような状況があって不安に思っている人がいる中で、高平として現段階でイエスとは言えない。その子が卒業すれば解決する話なのかどうかもわからない状況で、判断ができない。他の統合案についても話はしているが、そのいじめの話が解決しているかがわからないと保護者に説明できないので、現状を教えてほしい。「背中をけられた」「足跡がついていた」などのいじめが今でもあるのか。その時だけのことで今ではないということなら問題ないが。</p>
事務局	<p>いじめがあった場合は、学校で対応すると同時に、教育委員会に報告することになっている。大きな事象はもちろん、些細なことであっても全て報告することになっている。その報告の中には、どのように対応し、どのように解決していったのか、保護者への連絡はどうしたのかなど、詳細に報告することになっており、学校と教育委員会で追跡している状況である。三田市では、ほぼすべての事案で解決に向けて取り組んでいるのが現状である。</p>
委員	<p>大きく問題はないということか。</p>
事務局	<p>松が丘の事案については、どのような経過で起こり、現在どうなっているのか点検して確認しようと考えている。</p>
委員	<p>現状でどのような部会のまとめ方が想定できるのか。</p>
事務局	<p>今回いただいた意見と前回までの「会議録要旨」を基に、部会まとめの素案を事務局で作成し、次回協議いただいてはどうかと考えるが、もし委員のみなさんからまとめ方についての意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>現在、「八景と上野台の統合」という行政案とその他の方策の中で賛成が多い案とを1つにまとめるのか。</p>
事務局	<p>この3回の部会の中で「行政案に賛成する」という意見と「その他の案で検討したい」という意見とがあったかと思う。もしこの部会として1つにまとめるのが難しいということであれば、例えば、2つの意見を併記するということも考えられる。現状では、1つにまとめるのは難しいと思われるので、両論併記の意見が多ければそのようにしていただいてもよい。</p>
委員	<p>今回、志手原から提案があったので、行政案と比較して議論できるように、各方</p>

事務局	<p>策について指標に基づく評価資料を示してほしい。</p> <p>冒頭説明したようにこの協議会は、上野台・八景の協議会であることから、例えば「松が丘・三輪を上野台中校区に」という意見が多ければ、上野台中部会の意見として八景中のみなさんと協議することは可能だが、藍中や長坂中との再編を検討するのであれば、この協議会では検討出来ないのでは、上野台中部会として一旦行政案に反対する旨の結論を出していただかないといけない。</p>
事務局	<p>たくさんの意見が出てまとめるのが難しいというご意見かと思うが、今日の協議内容を委員のみなさんにお送りし、各組織で検討をしていただいた上で、再度部会のまとめについて協議いただくことになると思う。さらに、本日の資料（ワークシート）【課題2 行政案やその他の方策について】以外の課題も4つ残っているので、それも併せて次回の部会で協議していただきたい。</p>
委員	<p>今まで協議してきても何も決まっていなはいかかなものか。八景中に課題があるということで、八景中校区の三田・三輪・松が丘の3小学校区を上野台中と統合するという行政案が出たと思っている。上野台と藍・長坂との統合は、無理。松が丘・三輪から上野台中に通学するとなると、多くの生徒が坂を上ってこなければならず、それも難しいということで、2校を統合して新設校をつくるという行政案で進んでいたと自分は理解している。今になって様々な問題が出てきて、始まってから何も決まっていな。それでは意味がないので、事務局は、もっと主導権を持って、物事の順序を踏んで協議してほしい。いじめの問題もあるが、現実、中学から私学に通う子もいるし、高校に行く時にはみんな大規模の学校に行かなければいけない。自分の子どもが高校に行くときも不安はあったが、何とか卒業することができた。子どもの成長ということを第一に考えていきたい。いずれにしても、次回は、何かが決められるような会にしてほしい。日程のことだが、次回は金曜に予定されているが、変更はできないか。</p>
事務局	<p>次回の日程については、予定通りの日程でお願いしたい。</p>
委員	<p>スケジュールの話が出たが、年度末まで4か月余りとなり残された時間はあまり多くない。年度が替わると、委員の交代も出てくる可能性がある。その時に、八景中の委員と何の話もできていないのはよくない。上野台としての結論が出てから八景の委員と出会う、または、上野台としての結論は出ていないが、松が丘・三輪のことなどを含めて八景の委員と出会い率直に協議するという2つの方法がある。様々な課題があり、今の話し合いが不要とは言わないが、子どもたちのより良い教育環境を整えるために「上野台と八景の統合が良いのかどうか」について結論を出すのがこの会だと思っているので、年度末に向けての具体的なスケジュールを示してほしい。</p>

事務局	<p>今後のスケジュールについては、12月に再度部会を開催しそこで部会としてのまとめを行い、1月に八景中との地域協議会で協議いただく予定にしている。地域協議会を複数回開催したとしても、何とか年度内に一定の結論が出せればと考えている。</p>
委員	<p>先ほどから、質問に対してもう少し詳しい説明をしてほしいという意見があった。次回も今日と同様口頭での説明だと協議する時間がなくなってしまうので、次回までの出来るだけ早い時期に、委員のみなさんが共通認識のできるような具体的な内容の資料を作成し、各委員に送ってほしい。それであれば、我々も資料を読み込み、意見を言うことができる。</p>
事務局	<p>今回は、委員から提案資料をいただいてからの期間が短かったこともあり、口頭での説明となったが、先ほど委員からのご要望もあったので、資料を作成し、出来るだけ早い時期に送付させていただきたい。</p>
委員	<p>資料の送付は、大体いつ頃になるのか。私たちは個人としてこの会に出ているのではなく、組織の代表として出てきているので、他の人の意見も聞いた上で次回の会に臨みたい。</p>
事務局	<p>2週間程度時間をいただきたい。</p>
委員	<p>志手原代表委員からの提案資料に「他の代表との認識差等が発生し、再編協議が遅延することが想定されるため、個別に教育委員会と話し合える機会を求めたい」と書いてあるが、このようなことを希望すればできるのかを教えてほしい。可能なら、私達も同席させてほしい。</p>
事務局	<p>各委員から質問等があれば、個別対応させていただく。この提案資料にある「個別の話し合い」というのが、どのような内容のものかわからないが、委員からの要望があれば地域やPTAへの説明も含めて対応させていただく。</p>
委員	<p>昨年からの会に参加し、しばらく欠席をして、数か月ぶりに参加したが、以前からまったく進んでいないように思う。今日は、保護者委員から具体的な問題提起があったが、当初は、「行政案に賛成か反対か」という議論だったはず。この行政案は、生徒数、場所、通学手段など、いろいろなことを考え、市が何年もかかって作成したものと思うが、当局の説明に訴える力、自信が感じられない。新しく夢のある学校を作ろうとするのだから自信をもって説明してほしい。小さな学校から大きな学校に行く時には、プレッシャーがかかったり、様々な課題があると思うが、中学校を卒業すると高校・大学とどんどん規模が大きくなる、それに慣れておく必要があるだろう。自分は1学級5～6人の学校で学んだが、中学校に入った時には50人位いた。初めは心配だったが、子どものことなのですぐに慣れた。そのよう</p>

な成長の段階が必要だと思う。小規模のままで良いのか、少しずつ大きな規模に慣れていく方が良いのか、地域・保護者のみなさんも経験してきているはず。次回は、少しでも方向性が見えるような会にしてほしい。

5 今後のスケジュールについて

－【次第】の記載に基づき、提案し、了承－

6 閉 会

－松下学校教育部長 挨拶－